



2024年2月期
第1四半期

決算説明資料

2023年7月11日

バリオセキュア株式会社 | 証券コード：4494

INDEX

目次

1. 会社概要
2. 2024年2月期第1四半期 決算概要
3. 中期成長戦略
4. 2024年2月期 業績予想
5. 参考資料

1. 会社概要

▶ 会社名	バリオセキュア株式会社 (Vario Secure Inc.)			
▶ 創業	2001年6月21日			
▶ 代表者	代表取締役社長 稲見 吉彦			
▶ 資本金	7億4,975万円			
▶ 従業員数	81名※			
▶ 所在地	本社 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-6 住友商事錦町ビル5F 大阪オフィス 〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江1-2-19 福岡営業所 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東1-12-17			
▶ 事業内容	マネージドセキュリティサービス インテグレーションサービス			
▶ 役員構成	取締役営業本部長	梶浦 靖史	取締役技術本部長	山森 郷司
	取締役管理本部長	磯江 英子	社外取締役	芝 正孝
	取締役	林 隆弘	取締役	井口 圭一
	取締役	森 博也	取締役監査等委員	酒井 健治
	取締役監査等委員	深井 英夫	取締役監査等委員	仁科 秀隆
▶ Web	https://www.variosecure.net/			
▶ 認証	ITSMS(ISO20000)、ISMS(ISO27001)、プライバシーマーク			





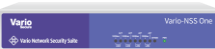

※正社員、契約社員、嘱託社員の合計



IS 676913 / ISO 27001

※ 2023年5月末時点

企業のインターネット利用を安全・快適にできるサービスを提供

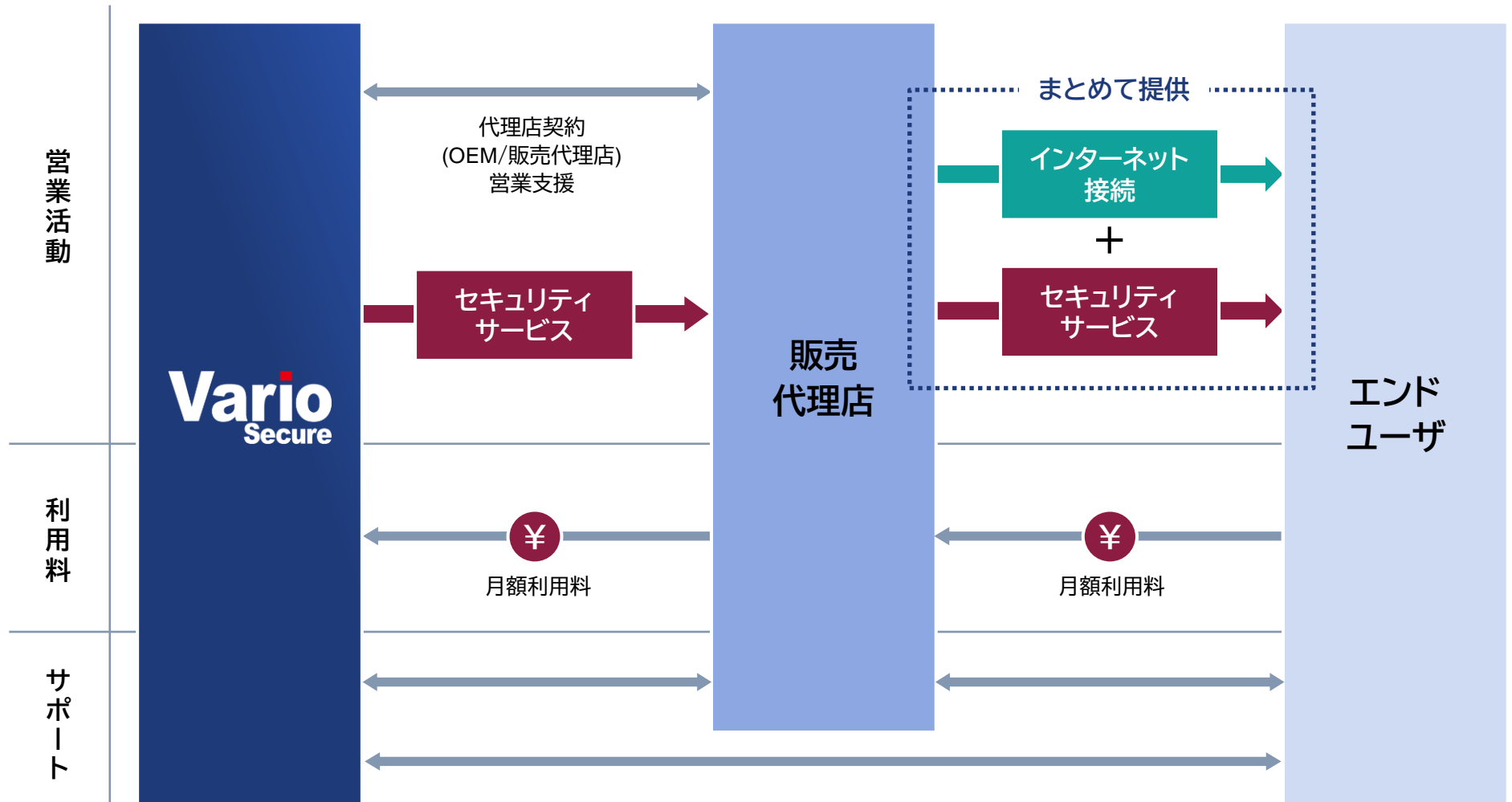
	マネージドセキュリティサービス	インテグレーションサービス
サービス形態	導入支援・導入・運用・保守 24時間/365日、日本全国	機器販売・構築
収益モデル	リカーリング型(月額課金)	一時課金型
サービス内容	<p>①統合型インターネットセキュリティサービス(マネージド型)</p> <p>インターネットの出入口を守る</p>  <p>VarioS</p> <p>マネージドセキュリティサービス専用機器 VSR-Vario Secure Router</p>	<p>⑥中小企業向け統合セキュリティ機器販売(販売型)</p> <p>50名以下ならこれ1台で安心</p>  <p>中小企業向け統合セキュリティ機器 VCR-VarioCommunicate Router</p>
	<p>②VarioマネージドLAN / Wi-Fiサービス</p> <p>社内LANスイッチ/Wi-Fiアクセスポイントを守る</p> 	<p>⑦ネットワークインテグレーションサービス(以下、IS)・ネットワーク機器の調達や構築</p> <p>社内のネットワークの構築(無線LANネットワーク)</p>
	<p>③データバックアップサービス</p> <p>もしもの時のデータ保持</p>  <p>データバックアップサービス専用機器 VDaP-Vario Data Protect</p>	
	<p>④Vario-NSS(Network Security Suite)</p> <p>不正端末発見, 脆弱性管理</p> 	
	<p>⑤Vario-EDRサービス</p> <p>少ない運用負担で、サイバー攻撃の発見と対応を支援</p> 	

構築から復旧まで、セキュリティ対策の全プロセスをカバー



※政府機関「米国国立標準研究所 (National Institute of Standards and Technology, NIST)」が2014年に発行したNIST サイバーセキュリティフレームワーク (Cyber Security Framework, CSF)。

主力の統合型インターネットセキュリティサービスは、主にインターネット回線に付帯して提供



通信キャリア、Sler、電力系通信会社様等との間でOEM契約を締結し、長期に亘るパートナーシップを構築

マネージドセキュリティサービスのOEMパートナー 全31社(2023年5月末時点)

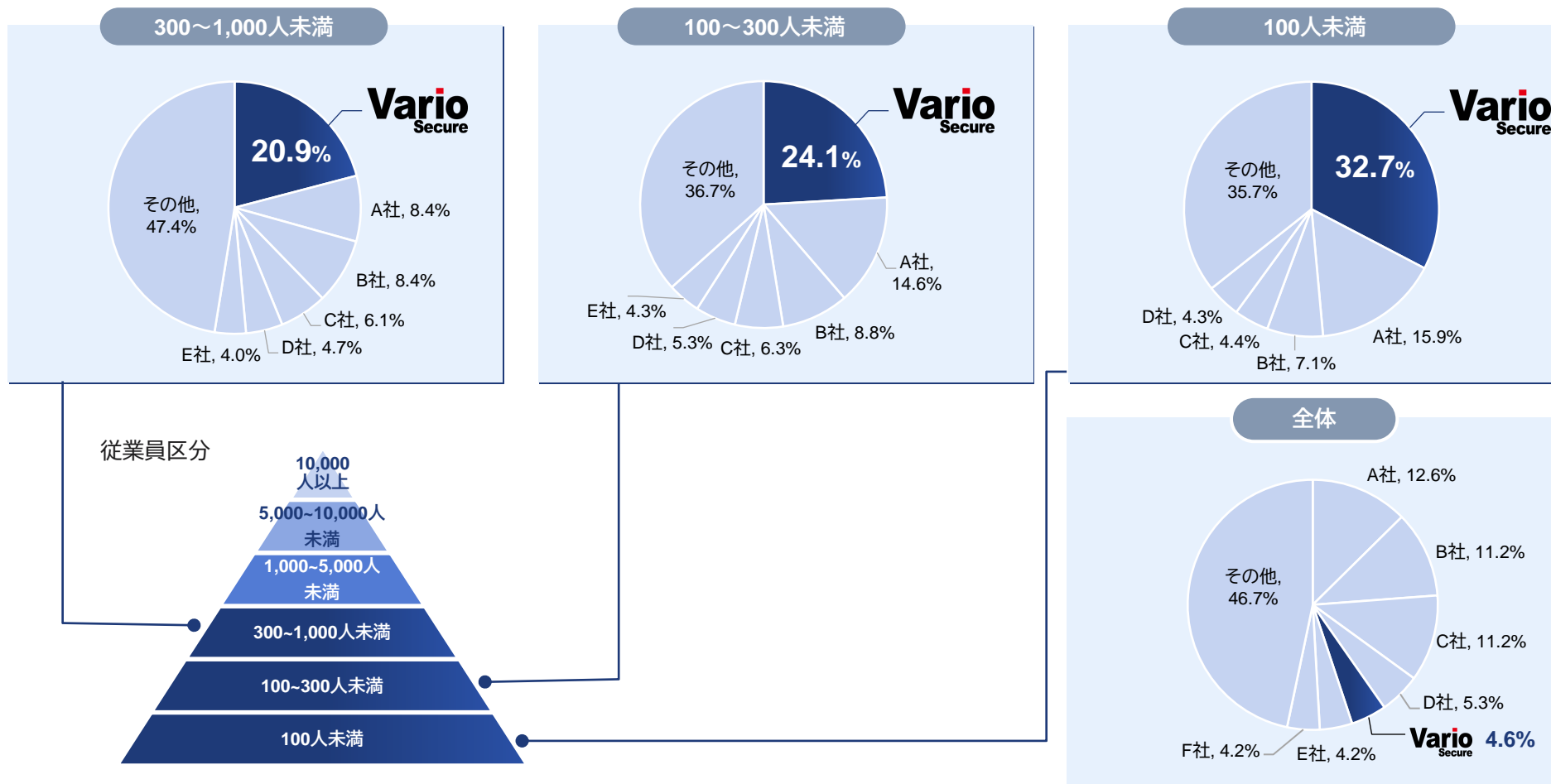


他多数

※左上から右下への50音順

ファイアウォール/UTM運用監視サービス市場において、従業員1,000人未満の企業ではトップシェア

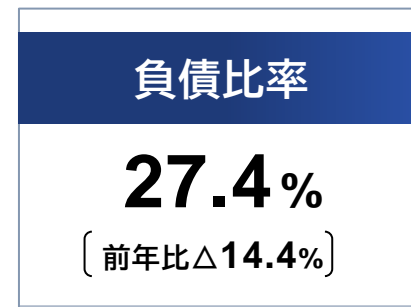
■ ファイアウォール/UTM運用監視サービス市場ベンダー別売上金額シェア(2021年度)



出所:ITR「ITR MARKET VIEW ゲートウェイ・セキュリティ対策型SOCサービス市場2022」 ファイアウォール/UTM運用監視サービス市場(2021年度)

The background features a light blue and white color scheme with a network of thin, grey circuit-like lines and nodes. A large, faint number '2' is visible in the background, partially obscured by the text. The text is centered in a dark blue horizontal band.

2. 2024年2月期第1四半期 決算概要



中計事業展開方針

第1四半期進捗

①マネージドサービスの 対応領域拡大・競争力強化

- ゲートウェイセキュリティに加え、LANからクラウドまでの対応領域の拡大、他社商材活用による競争力強化



- マネージドLAN/Wi-Fiをサービスリリースし、3/6から販売を開始

②成長セキュリティ市場 への参入

- 既存サービスを活かしたゼロトラストセキュリティ領域への参入



- 当社サービスと連携するIDaaSの設計、開発

③既存販売網と異なる 新規営業体制の強化

- オンラインマーケティング、インサイドセールスへの積極投資による強力なダイレクトセールス体制の構築



- サービス企画、新規代理店開拓のための人材を採用
- マーケティング、インサイドセールスの体制を強化

売上収益は、インテグレーションサービスの減収計画によって前年同期比△3.9%であるものの、計画通りに進捗。営業利益・当期利益は、中計に基づいた事業投資(戦略的な人材採用、マーケティング強化等)の実施や入社時期のずれ等によって進捗率31.9%となり、計画より超過達成

(百万円)	2023年2月期 第1四半期実績	2024年2月期 第1四半期実績	前年同期比増減	2024年2月期 通期計画※1	進捗率
売上収益	670	643	△3.9% (△26)	2,685	24.0%
営業利益	199	145	△27.1% (△53)	456	31.9%
当期利益	126	98	△22.3% (△28)	308	31.9%
一株当たり当期利益 (円)※2	33.29	21.77	△11.51	-	-
負債比率(%)※3	41.7%	27.4%	△14.4pt	-	-
自己資本比率(%)※4	60.9%	69.5%	+8.6pt	-	-

※1：2023年2月期期末決算短信(2023年4月12日)

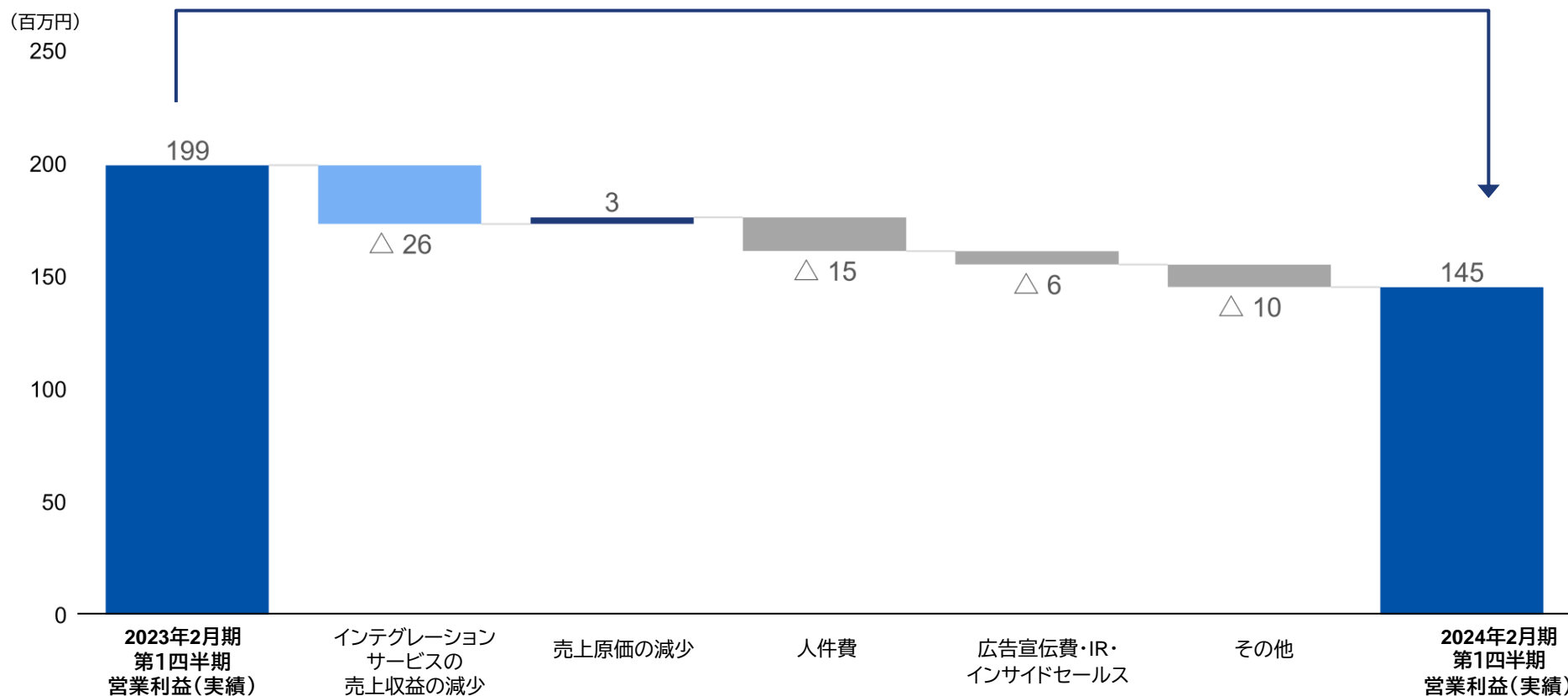
※2：一株当たり当期利益(EPS)=通期利益÷発行済み株式数

※3：負債比率=((短期借入金+長期借入金)÷自己資本)×100

※4：自己資本比率=(自己資本÷総資本)×100

IFRS (国際会計基準)

営業利益は、インテグレーションサービスの売上収益減 $\Delta 26$ 百万円、戦略的な人材採用 $\Delta 15$ 百万円、マーケティング強化による広告宣伝費等 $\Delta 6$ 百万円等により、前年比 $\Delta 27.1\%$ の145百万円。営業利益率は22.6%



IFRS (国際会計基準)

継続的な収益の積上げ及び計画的な借入返済により、自己資本比率は+0.8pt増の69.5%

(百万円)	2023年 2月期末	2024年 2月第1四半期末	増減
資産合計	7,826	7,618	△207
流動資産	1,925	1,729	△195
非流動資産	5,900	5,888	△12
のれん	5,054	5,054	0
負債合計	2,447	2,323	△123
流動負債	832	788	△43
非流動負債	1,614	1,535	△79
資本合計	5,378	5,294	△84
負債及び資本合計	7,826	7,618	△207

財務指標

	2023年 2月期末	2024年 第1四半期末
のれん純資産倍率※1	0.94x	0.95x
有利子負債	1,500百万円	1,450百万円
Net D / E レシオ※2	8.6%	12.2%
Net D / EBITDA倍率※3	0.6x	0.84x
自己資本比率	68.7%	69.5%

※1: のれん純資産倍率=のれん / 資本

※2: Net D / E レシオ=Net Debt / 資本 Net D/E (純有利子負債: 有利子負債残高(短期借入金、長期借入金)- 現金及び現金同等物(預金))

※3: Net D / EBITDA倍率=Net Debt / EBITDA (償却前営業利益: 金利や税、減価償却費を計上する前の利益) 2024年2月期第1四半期末は×4

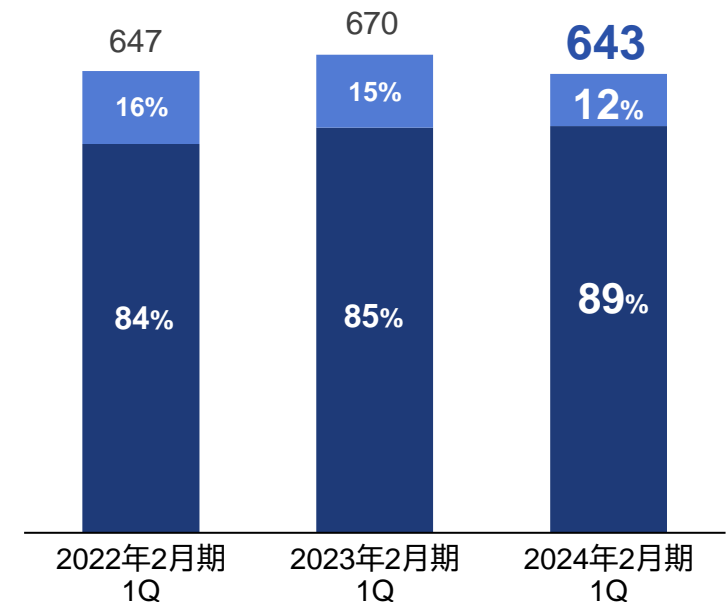
IFRS (国際会計基準)

マネージドセキュリティサービスが堅調に推移。インテグレーションサービスも計画通りに進捗し、売上収益全体進捗率は24.0%。ストック型ビジネスであるマネージドセキュリティサービスの売上収益に占める割合は +3.8pt増の88.5%

(百万円)	2023年 2月期 第1四半期 実績	2024年 2月期 第1四半期 実績	増減	2024年 2月期 通期計画	進捗率
売上収益	670	643	△3.9% (△26)	2,685	24.0%
マネージドセキュリティサービス	567	569	+0.4% (2)	2,384	23.9%
インテグレーションサービス	102	73	△28.0% (△28)	301	24.5%

売上収益推移

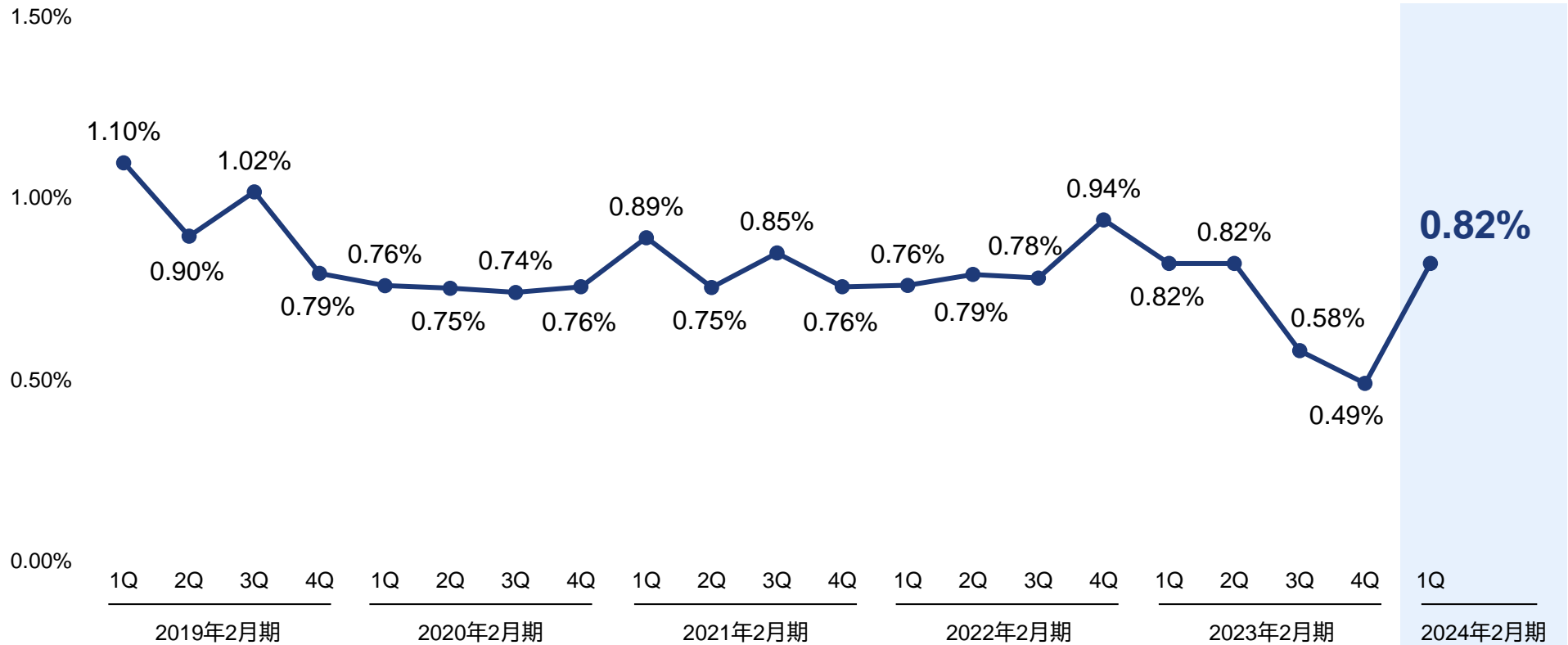
- インテグレーションサービス
- マネージドセキュリティサービス



IFRS (国際会計基準)

統合型インターネットセキュリティ(マネージドセキュリティサービス)の解約率※1は、1%以下の低い水準で推移

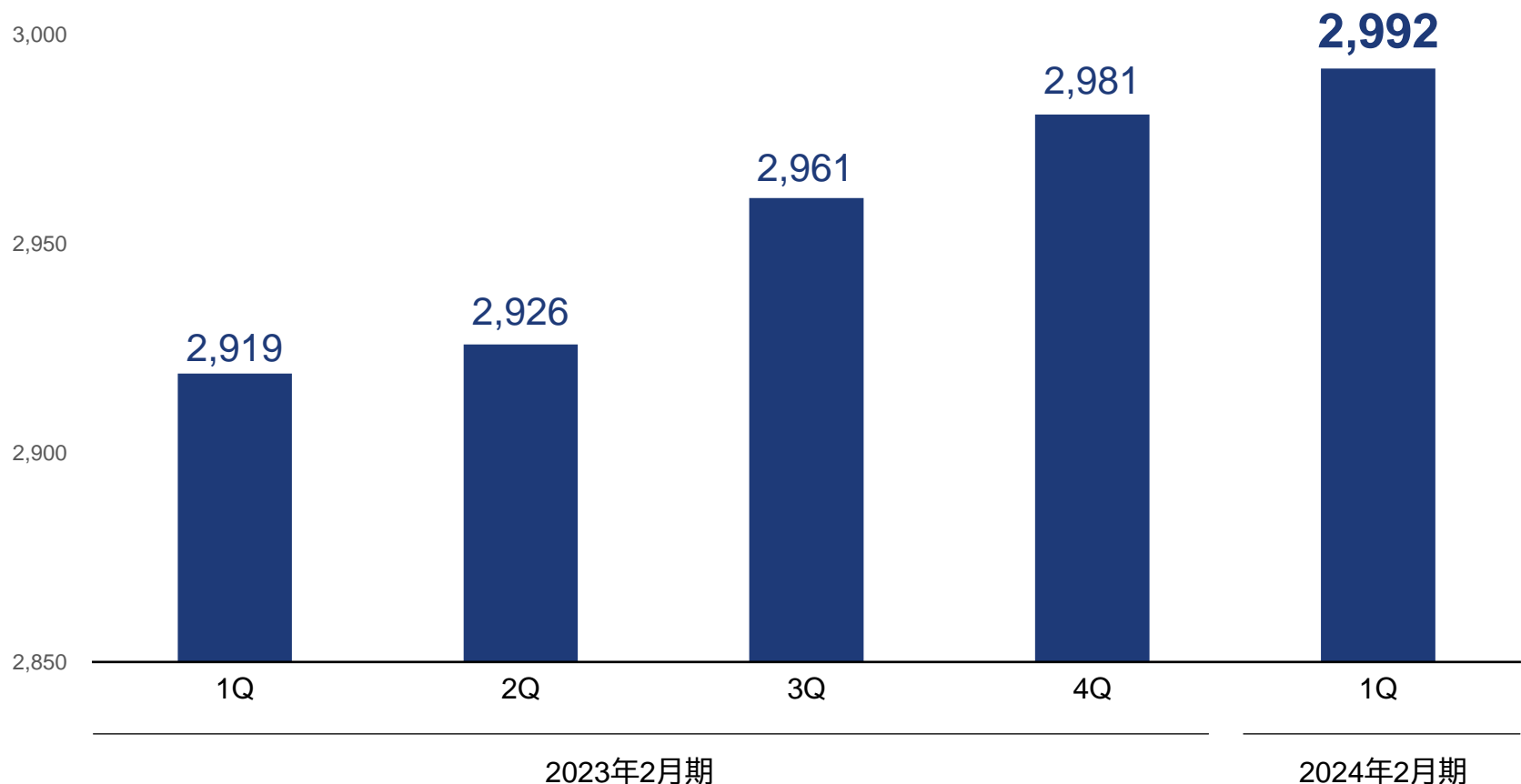
■ 四半期解約率の推移



※1: 解約率(金額ベース) = 四半期解約金額 ÷ (各年度の期初ベース月次売上収益 × 3ヶ月)

マネージドセキュリティサービス(統合型インターネットセキュリティサービス、Vario-EDRサービス、データバックアップサービス)のエンドユーザー企業数は、堅調に増加。安定的な収益基盤に寄与

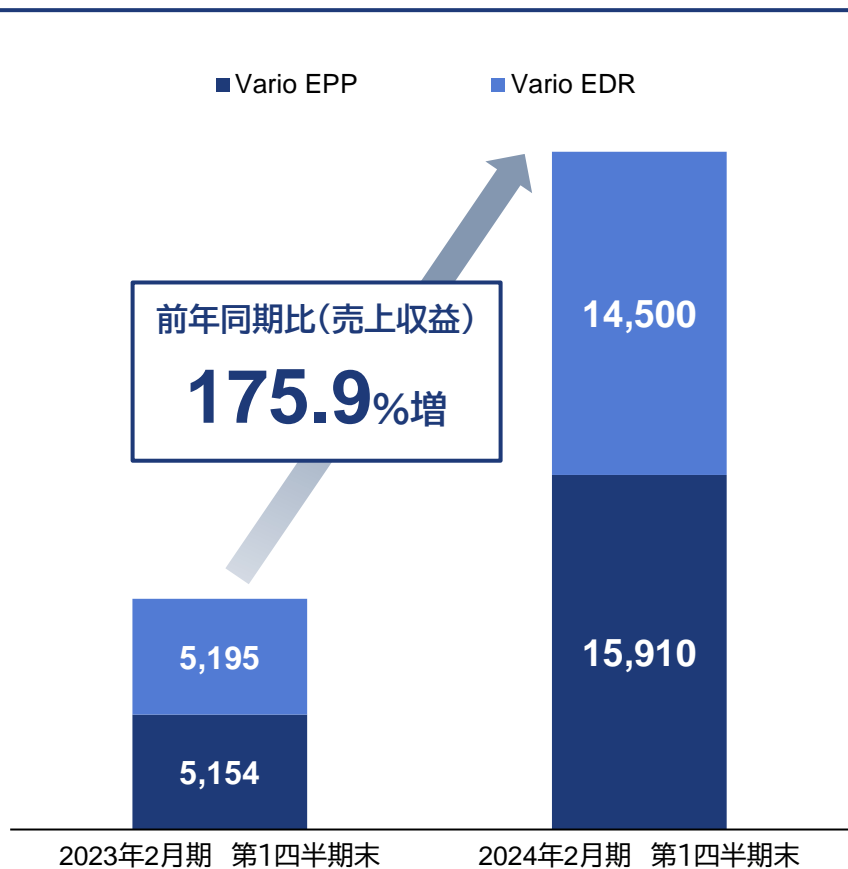
■ 四半期末時点のエンドユーザー企業数の推移



新たなサイバー攻撃被害の拡大を背景に、マルウェア対策に有効な「Vario Endpoint Security」が引き続き好調に推移。データバックアップサービス「Vario Data Protect」も堅調に収益を拡大。

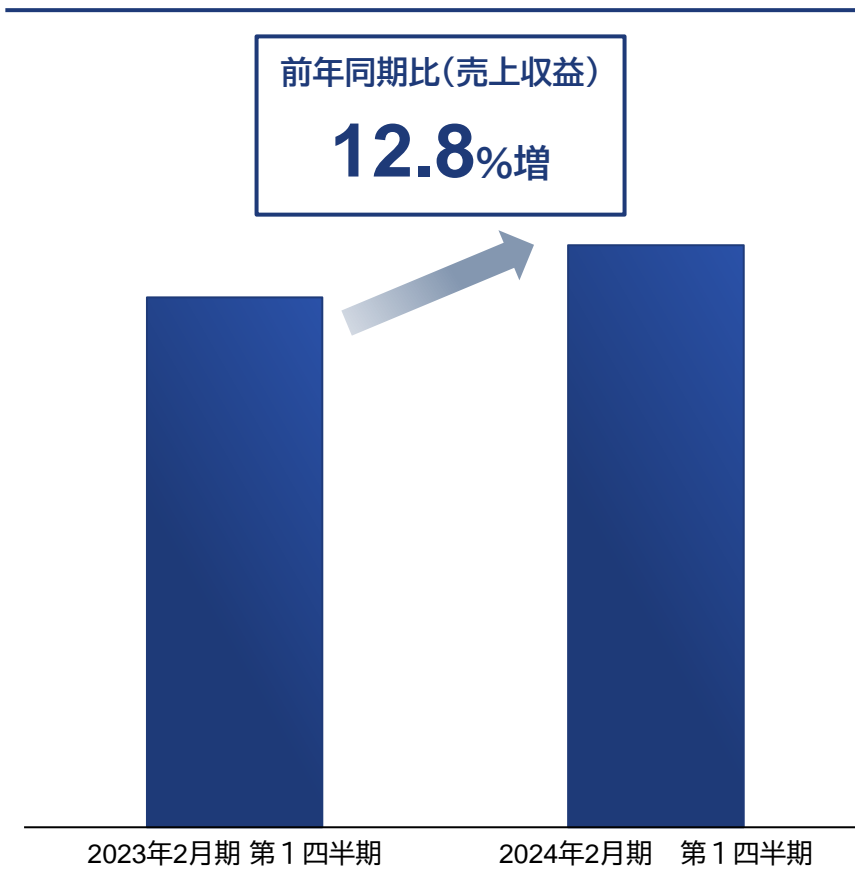
マルウェア検知・防御


Vario Endpoint Security ライセンス数



ランサムウェア対応型バックアップ

Vario Data Protect 売上収益



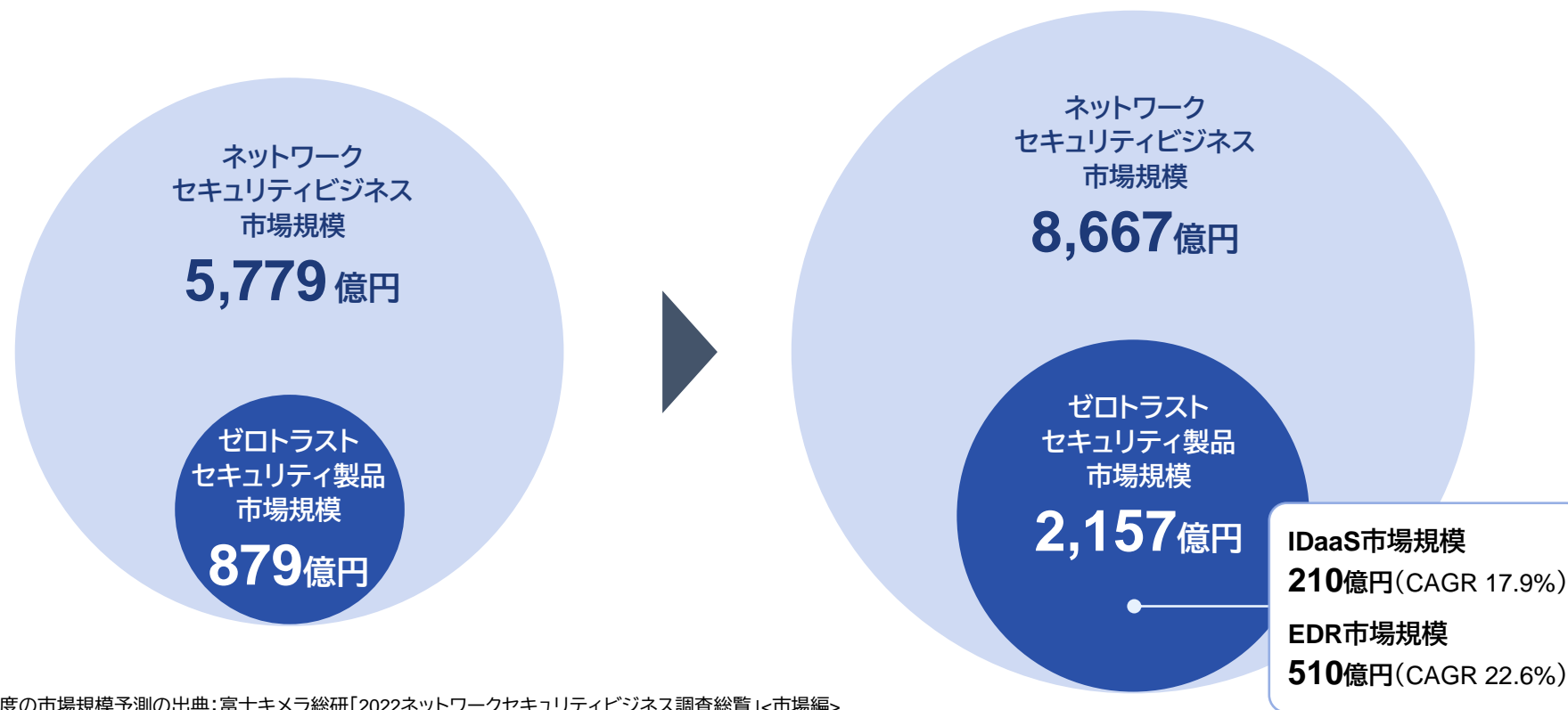


3. 中期成長戦略

在宅勤務等の社会環境の変化、クラウドサービスの利用拡大、サイバー攻撃の高度化の影響を受け、セキュリティのトレンドが境界防御型(侵入させない)からゼロトラスト(侵入ありき)へと不可逆的に変化している

2021年度

2027年度(予測)



※2027年度の市場規模予測の出典:富士キメラ総研「2022ネットワークセキュリティビジネス調査総覧」<市場編>
I.総括編 1.ネットワークセキュリティビジネス市場の展望
I.総括編 9.市場規模推移 2-9 IDaaS、2-23 EDR

外部環境

- 従来の境界防御型の市場成長は年率1.3%※程度の予測
- 「侵入させない」と同時に、「侵入ありき」の多層防御のゼロトラストセキュリティ対策が求められている
- ゼロトラストセキュリティへのニーズは、今後一層高まる見込み

内部環境

- 中小企業向けのアプライアンス型UTM製品市場で安定成長してきたが、当社VSRの直近の新規設置台数は横ばい
- 当社の主力サービスは「侵入させない」を目的とした境界防御型
- マルウェア検知・防御(Vario Endpoint Security)、ランサムウェア対応型バックアップ(Vario Data Protect)は、2桁以上の成長実績



経営課題解決の方向性

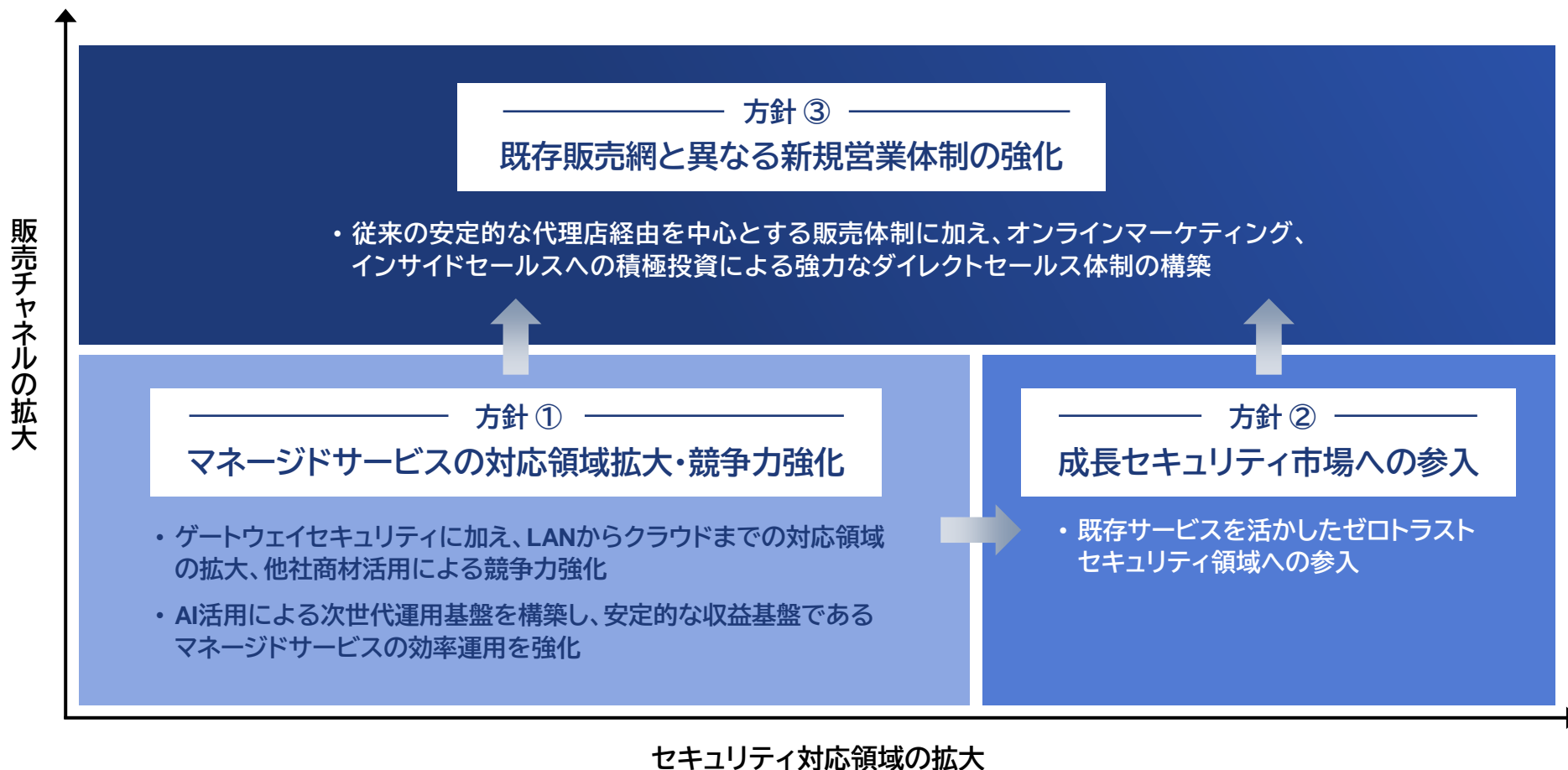
強みの深化と成長市場への投資と戦略的な顧客開拓の実行

✓ 強みの深化

✓ 成長市場への投資

✓ 戦略的な顧客開拓

中長期的な事業投資により、「マネージドサービスの対応領域拡大・競争力強化」「成長セキュリティ市場への参入」「既存販売網と異なる新規営業体制の強化」を推進



4年間で売上収益+42.8%、営業利益+58.3%の成長を図る

2023年2月期実績

売上収益	2,634 百万円
営業利益	581 百万円

2027年2月期目標


売上収益	3,763 百万円	(2023年 2月期比 +42.8%)
営業利益	920 百万円	



2023年2月期

2027年2月期

IFRS(国際会計基準)

The background features a light blue and white color scheme with a network of thin, grey circuit-like lines and nodes. A large, faint number '4' is visible in the background, centered behind the main text. The text is presented in a bold, black, sans-serif font.

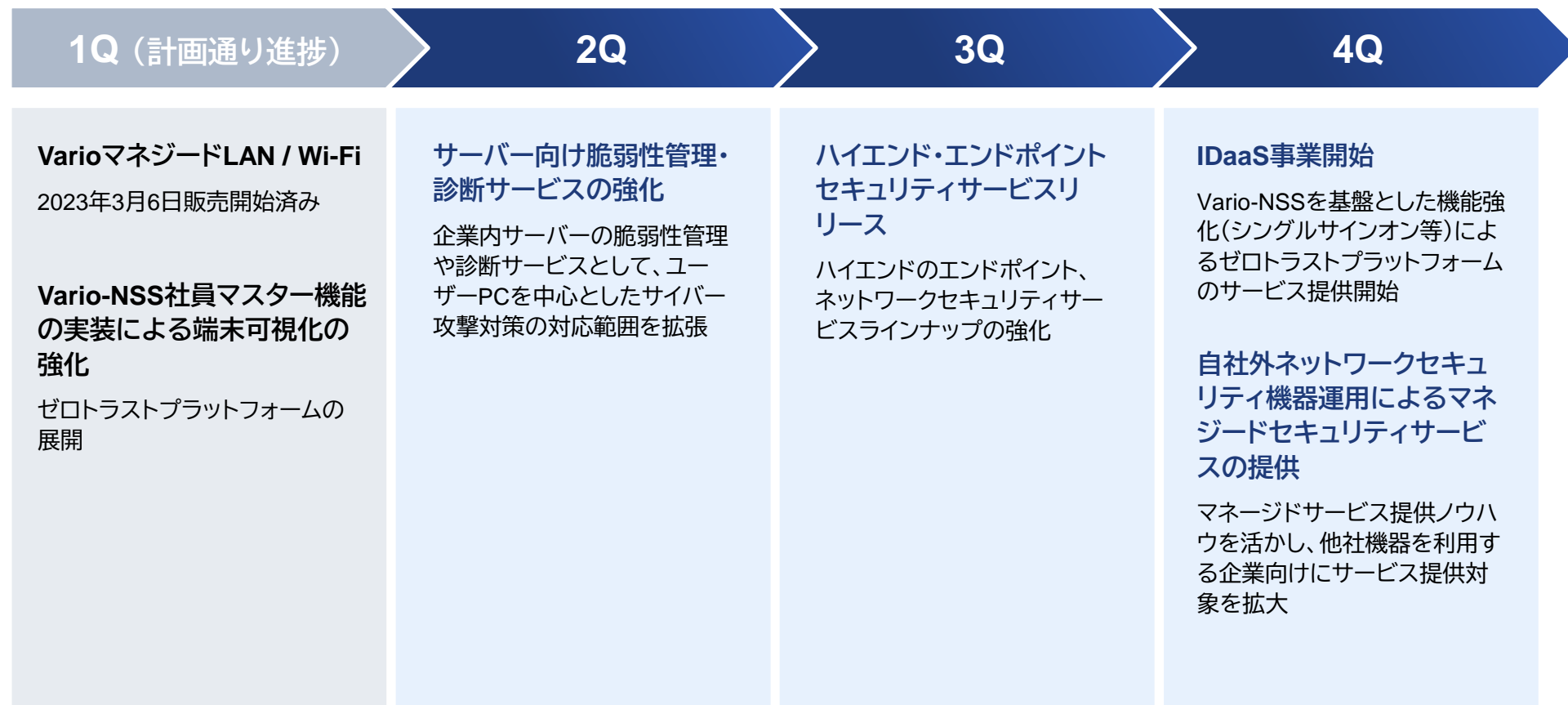
4. 2024年2月期 業績予想


2024年2月期の第1四半期の売上収益は、計画通りに進捗。営業利益・当期利益は、一部、中途採用者の入社時期のずれ等により、予算進捗率は31.9%。中計に基づき、積極的な事業投資(戦略的な人材採用に伴う人件費増、マーケティング強化による広告宣伝費増等)を推進中

(百万円)	2024年2月期 通期計画	2024年2月期 第1四半期実績	進捗率
売上収益	2,685	643	24.0%
営業利益	456	145	31.9%
当期利益	308	98	31.9%
一株当たり当期利益(円)	68.30	21.77	—

IFRS(国際会計基準)

2024年2月期にサイバー攻撃対策の強化と、ゼロトラストセキュリティの本格提供に向けたプラットフォーム整備を中心とするサービスリリースを計画



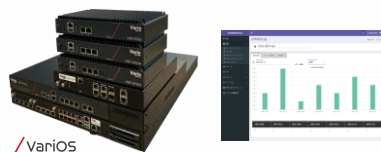
The background features a light blue and white color scheme with faint, stylized circuit board traces and geometric shapes. A prominent horizontal blue gradient bar spans the middle of the page. The text '5. 參考資料' is centered within this bar.

5. 參考資料

新たなマネージドサービスとして、オフィスLAN内のネットワーク機器やWi-Fiアクセスポイントの運用管理に対応する「VarioマネージドLAN / Wi-Fi」の提供を3月より開始

UTM運用のマネージドサービス

インターネットゲートウェイの
運用管理体制強化



VSRマネージドセキュリティサービス

- UTMの管理・メンテナンスが一切不要
- サービスに機器を含み機器購入不要
- 24時間365日対応の運用保守
リモート設定変更・駆付け保守
- 初期/月額定額の明確な料金体系

次世代エンドポイント対策

ウイルス・マルウェアの検知強化
／最新サイバー攻撃対策

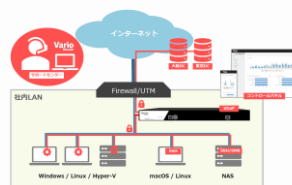


Vario Endpoint Security

- 未知のサイバー攻撃への対応
／感染端末の自動隔離に対応
- AIを活用した高精度な振る舞い検知
- クラウドによる共通管理プラットフォーム
- マネージド型EDRサービス

セキュリティ強化型バックアップ

ランサムウェア感染被害を受けにくいバックアップ



VDaP-Vario Data Protect

- サイバー攻撃を考慮したバックアップ環境をワンストップ構築
- 機器・ソフトウェア・IDCの一括提供
- 既存システムへの影響を最小限に導入可能
- 運用負担の少ないマネージドサービス

LAN内スイッチ、Wi-Fi APを一括管理

社内のネットワーク／Wi-Fi
トラブル回避と脆弱性対応強化



VarioマネージドLAN / Wi-Fi

- ネットワークスイッチ / Wi-Fiの管理・メンテナンスが一切不要
- 常にファームウェアを最新に保ち脆弱性を放置しない
- 専用コントロールパネルで運用状況を把握
- チューニング・設定変更もおまかせ

第4のマネージドサービスの追加により、
トータルなセキュリティ対応をさらに強化

Endpoint Security Serviceのパートナーであるフィンランドのセキュリティ企業WithSecure社は5月24日フィンランドにて自社カンファレンス「SPHERE23」を開催。新規販売またはマネージドサービスの販売において特別な成績を収めたパートナーに対するGrowth Partner Awardとして当社がノミネート。



企業のインターネット接続からテレワークのセキュリティまで様々なニーズに対応

お客様ニーズ		サービス	メリット
①	インターネット接続のセキュリティ/運用をまかせたい	統合型インターネットセキュリティサービス(VSR)	<ul style="list-style-type: none"> 専用機器を設置するだけの簡単導入 社内担当者の運用負担を大幅軽減 手間なく機器を最新状態に維持できる 24時間365日の運用監視、サポートに対応可能 万が一の障害時の手厚いサポート
②	社内の端末情報を負担なく把握したい	Vario-NSS	<ul style="list-style-type: none"> 専用機器を設置するだけの簡単導入 端末へのソフトウェアインストールは不要 端末のIPアドレス情報などを自動取得 脆弱性管理を大がかりなシステム不要で実現 運用負担の少ないシンプル構成
③	テレワーク端末の脆弱性対策と、社員の業務状況を可視化したい	Vario Telework Manager	<ul style="list-style-type: none"> テレワークの端末情報を把握・管理が可能 テレワークのセキュリティレベルを向上 脆弱性を可視化し、更新の未適用を把握 テレワーク社員の業務状況を、通信量、アプリの稼働状況から確認可能
④	管理や運用負担なく、社内の重要データをバックアップしたい	Vario Data Protect	<ul style="list-style-type: none"> 必要な機器、ソフトウェア、クラウド環境を月額定額でご利用可能 ランサムウェア感染リスクを軽減した仕組みによる安全なバックアップ ローカルのバックアップ用機器+クラウド2拠点への冗長対策済み 管理・運用負担を軽減したマネージド型サービス
⑤	標的型攻撃やランサムウェアなどのサイバー攻撃被害を未然に防ぎたい	Vario EDRサービス	<ul style="list-style-type: none"> 高度化したウィルス、マルウェア対策として効果的 マネージド型サービスにより、リスクの高い攻撃検知後の対応をサポート 少ない運用負担で、社内だけでなくテレワーク環境の端末保護にも有効
⑥	メールの誤送信防止を強化したい	メールセキュリティサービス	<ul style="list-style-type: none"> メールを一定期間保留し、メール送信のキャンセルに対応 上長の承認機能など、重要メールの送信ミスを防止 様々なルール設定に対応した送信ブロック機能により送信ミスを排除
⑦	社内のファイル共有を安全かつ便利に実施したい	FileFlex	<ul style="list-style-type: none"> 社内のファイルサーバのファイルを、クラウドやVPNを利用することなく簡単、安全にファイル共有可能 アクセス権限の設定やアクセス履歴確認など、自由度を損なうことなく安全性を確保
⑧	自社のネットワーク課題を解決するための環境を構築したい	ネットワークインテグレーションサービス	<ul style="list-style-type: none"> 様々な環境構築実績を持つ、ネットワーク、セキュリティを熟知した技術者による対応 お客様ニーズに沿った幅広い機器・サービスの選定が可能 オンプレミスからクラウドまで幅広い領域をカバー
⑨	社内のネットワークスイッチ、Wi-Fiアクセスポイントの運用をまかせたい	VarioマネージドLAN / Wi-Fi	<ul style="list-style-type: none"> オフィス内LAN / Wi-Fiの運用・管理を強力サポート ネットワークスイッチやWi-Fiアクセスポイントのお客様管理負担を大幅に軽減 24時間365日の機器監視による安心運用

IPAが「情報セキュリティ10大脅威2023(組織編)」を公表。「ランサムウェアによる被害」が昨年に引き続き、首位。「犯罪のビジネス化(アンダーグラウンドサービス)」が新規にランクイン

順位	組織	前年順位
1位	ランサムウェアによる被害	1位
2位	サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃	3位
3位	標的型攻撃による機密情報の窃取	2位
4位	内部不正による情報漏えい	5位
5位	テレワーク等のニューノーマルな働き方を狙った攻撃	4位
6位	修正プログラムの公開前を狙う攻撃(ゼロデイ攻撃)	7位
7位	ビジネスメール詐欺による金銭被害	8位
8位	脆弱性対策情報の公開に伴う悪用増加	6位
9位	不注意による情報漏えい等の被害	10位
10位	犯罪のビジネス化(アンダーグラウンドサービス)	圏外

出所:情報セキュリティ10大脅威 2023:IPA 独立行政法人 情報処理推進機構

略語(表記)	内容
VSR	Vario Secure Router 当社マネージドセキュリティサービスで利用している専用機器
Vario-NSS	Vario Network Security Suite 当社マネージドセキュリティサービスで提供している社内ネットワーク向けサービス。デバイス探査/デバイス監視/脆弱性管理を提供している
VDaP	Vario Data Protection 当社マネージドセキュリティサービスで提供しているハイブリッド型バックアップサービス
VSR-Config	VSR-Config 当社マネージドセキュリティサービスで利用している専用機器の自動設定ツール
EDR	Endpoint Detection and Response エンドユーザが利用するパソコンやサーバー(エンドポイント)における不審な挙動を検知し、迅速な対応を支援するサービス
EPP	Endpoint Protection Platform 従来型のアンチウイルスソフトウェアなど、エンドポイントにインストールするセキュリティプラットフォームの総称
UTM	Unified Threat Management ファイアウォール・アンチウイルス・IPS/IDS・Webフィルタリングなど、複数のセキュリティ機能を統合したアプライアンス製品のこと
OEM	Original Equipment Manufacturing(Manufacturer) 他社ブランドの製品を製造すること(あるいはその企業)を指す
SOC	Security Operation Center 24時間365日体制でネットワークやデバイスを監視し、サイバー攻撃の検出や分析、対応策のアドバイスを行う

インターネットを利用する全ての企業が
安心して快適にビジネスを遂行できるよう、
日本そして世界へ全力でサービスを提供する

Vario
Secure

- 本資料には、当社に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記載が含まれています。これらは、当社が作成時点において入手した情報に基づく、当該時点における予測等を基礎として作成されています。これらの記載は、一定の前提および仮定に基づいており、また、当社の経営陣の判断または主観的な予想を含むものであり、国内外の経済状況の変化、市場環境の変化、社会情勢の変化、他社の動向等の様々なリスクおよび不確実性により、将来において不正確であることが判明しまたは将来において実現しないことがあります。したがって、当社の実際の業績、経営成績、財政状態等については、当社の予想と異なる結果となる可能性があります。
- 本資料における将来情報に関する記載は、作成時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新を行う義務を負うものではありません。
- 本資料に記載されている当社以外の企業等に関する情報および第三者作成にかかる情報は、公開情報または第三者が提供する情報等から引用したものであり、そのデータ、指標、分析等の正確性、適切性等について、当社は独自の検証を行っておらず、何らその責任を負いません。